

# Global Can-do List



## 目次

|                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| □ Global Can-do List 作成のねらい | ..... P 2      |
| □ 表の見方                      | ..... P 2      |
| 高等学校 国語科                    | ..... P 3, 4   |
| 中学校 国語科                     | ..... P 5, 6   |
| 高等学校 地歴公民科                  | ..... P 7, 8   |
| 中学校 社会科                     | ..... P 9, 10  |
| 高等学校 数学科                    | ..... P 11     |
| 中学校 数学科                     | ..... P 12     |
| 高等学校 理科                     | ..... P 13     |
| 中学校 理科                      | ..... P 14     |
| 高等学校 保健体育科                  | ..... P 15, 16 |
| 中学校 保健体育科                   | ..... P 17     |
| 高等学校 芸術科 (音楽)               | ..... P 18     |
| 中学校 音楽科                     | ..... P 19, 20 |
| 高等学校 芸術科 (美術)               | ..... P 21     |
| 中学校 美術科                     | ..... P 22     |
| 高等学校 外国語科                   | ..... P 23     |
| 中学校 英語科                     | ..... P 24     |
| 高等学校 家庭科                    | ..... P 25     |
| 中学校 家庭科                     | ..... P 26     |
| 中学校 技術科                     | ..... P 27, 28 |
| 高等学校 未来航路                   | ..... P 29     |

### □ Global Can-do List 作成のねらい

本校のスーパーグローバルスクール事業の研究開発単位の一つである「GLOBAL STUDIES」では、中学校・高等学校の教職員が連携・協力し、全教科・科目で授業改善を行い、グローバル・リーダーに必要な5つの資質・能力をすべての授業の中で育成することを目指しています。

この Global Can-do List は、中・高の教職員間、そして、生徒とも共有しながら、3年間あるいは6年間をかけて、5つの資質・能力を育てるための到達度目標表です。

今後、この Global Can-do List の中で示した「目指す生徒像」の育成を目標に、各教科で授業改善に取り組むとともに、継続的に効果の検証および授業評価・改善を図ります。

### □ 表の見方

#### ① 目指す生徒像：

資質・能力の面から、各教科指導を通して、卒業時までには到達を目指したい岡山操山生の姿（目標）

#### ② 5つの資質・能力：

- ・幅広く深い教養  
＝グローバルな課題を理解できる国際的な素養がある

#### ・課題解決能力

＝グローバルな視点で課題を発見し、論理的に解決策を考えることができる

#### ・コミュニケーション能力

＝多様な人の考えや価値観を理解し、自分の考えを伝えることができる

#### ・リーダーシップ

＝主体性と協働性を持ってチームを動かすことができる

#### ・社会貢献の意識

＝岡山・日本・世界のために貢献しようとする

#### ③ 解説：各教科で育成を目指す5つの資質・能力の解釈（具体的内容）

※ 未来航路の GlobalCan-doList は、様式が異なります。

| Global Can-do List (校種 教科) |         |             |         |         |    |
|----------------------------|---------|-------------|---------|---------|----|
| ① 目指す生徒像：                  | ② 資質・能力 | ③ 解説        | 3年      | 2年      | 1年 |
| 幅広く 深い教養                   | 課題解決能力  | コミュニケーション能力 | リーダーシップ | 社会貢献の意識 |    |
|                            |         |             |         |         |    |
|                            |         |             |         |         |    |
|                            |         |             |         |         |    |
|                            |         |             |         |         |    |

目指す生徒像：豊かな心構えと広い視野を持って、国際社会における国家の基礎としての国語を尊重し、その継承と向上を図ることのできる生徒

| No.  | 1   | 2  | 3  | 4  | 5  |   |
|------|---|--|--|--|--|---|
| 資質能力 | 幅広い深い教養   | 課題解決能力   | コミュニケーション能力  | リーダーシップ  | 社会貢献の意識  |   |
| 3年   | <p>【現代文】<br/>常用漢字の読み書きに習熟するとともに、自身を取り巻く様々な価値観が近代的な知の枠組みに依拠して成り立っていることを理解することができる。</p> | <p>【現代文】<br/>様々なジャンルの評論を通じて、前近代、近代、脱近代それぞれ理解を深め、課題を巨視的な観点とすることができる。</p>                                | <p>【現代文】<br/>様々な文章や文学作品に関する意見や感想を話し合ったり、文章化して相互に批評し合ったりすることができる。</p>               | <p>【現代文】<br/>様々な考え方ができる事例に関する発表や討論に際して、それぞれの立場を尊重しながら相互の意見交換が行われることのできる。</p> | <p>【現代文】<br/>様々な文章や文学作品を学び、意見や感想を文章化する活動を通じて、言論によって社会とつながりを持つことができる。</p>     | <p>【現代文】<br/>様々な文章や文学作品を通じて社会に對する理解を深め、自己と社会の関係について考察し、社会の一員として自分を自覚することができる。</p> |
| 2年   | <p>【現代文】<br/>常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代的な様々な文章の読解を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を深め視野を広げることができる。</p>    | <p>【現代文】<br/>様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心にその前後の時代背景や主立った思想の特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え今の社会の在り方を見直そうとすることができる。</p> | <p>【現代文】<br/>様々な文章や文学作品を讀んで、自分なりの意見や感想を持ち、発表や討論の場で的確に表現し、また相手の意見にも耳を傾けることができる。</p> | <p>【現代文】<br/>発表や討論の場で、テーマについて自己の異なる考えを尊重しながら互いに意見を交換し、考察を深めるよう努めることができる。</p> | <p>【現代文】<br/>様々な文章を通じて社会に對する理解を深め、自己と社会の関係について考察し、社会の一員として自分を自覚することができる。</p> |   |
| 1年   | <p>【国語総合】<br/>常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代的な様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。</p>                    | <p>【国語総合】<br/>様々なジャンルの評論を通じて、現代社会や人間の在り方における課題について知り、問題意識を持つことができる。</p>                                | <p>【国語総合】<br/>様々な文章を讀んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。</p>        | <p>【国語総合】<br/>発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりできる。</p>                      | <p>【国語総合】<br/>様々な文章を通じて社会に對する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。</p>           |   |

現代文分野

| 古典分野 |   |   |  |   |   |
|------|---|---|--|---|---|
| 3年   | <p>【古典】<br/>古典文法や古文単語に関する知識が定着しており、辞書等をほとんど使わずに、語彙等を正確に用いて、随筆等の文章を随筆・評議の文章を讀み、作者の心情を捉えたり、他の作品と比較したりして、作品世界を理解することができる。入試問題レベルより難しい漢文を自分の力で読むことができる。</p> | <p>【古典】<br/>古典に表現されている先人たちの価値観を現代社会における人間の生き方や価値観と比較し、そこから課題やアヤマを捉定し、その意図を深めようとすることができる。</p>        | <p>【古典】<br/>グループ活動での話し合いなどを通じて互いの意見を交換し、古典に関する共通理解や共通認識を作り上げることができる。</p>                           | <p>【古典】<br/>グループ活動などの場面で、グループ内や他のグループの意見を聞き取ることに加え、既存の研究なども参考にして、よりよいものを生み出すことができる。</p> | <p>【古典】<br/>古典を讀んで学んだことに基づき、よりよい社会の在り方や自己と社会との関わり方について考察し、その内容を発信したり実践したりすることができる。</p>              |
| 2年   | <p>【古典】<br/>各品詞についての知識が定着しており、敬語について一通り理解している。古典の背景に関する知識を基に、現感性・価値観を基に、随筆などの古文を、一部辞書を用いながら讀んで理解することができる。『諸子百家』や大学入試問題レベルの漢文を讀んで理解することができる。</p>         | <p>【古典】<br/>古典を讀むことを通じて学んだ先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直し、文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。</p> | <p>【古典】<br/>古典の表現や背景の知識に基づいて、古典の内容や議論についてグループで議論することができる。グループ活動を通じて、他の者の意見を聞き取り、一つにまとめることができる。</p> | <p>【古典】<br/>グループ内や他のグループの意見を聞き取ることに加え、既存の研究なども参考にして、よりよいものを生み出すことができる。</p>              | <p>【古典】<br/>様々な古典を讀むことで、先人の生き方や社会との関わり方を学び、その内容を表現しようとする。古典の世界を通じて、自己と他者との在り方、互いに建設的に考えることができる。</p> |
| 1年   | <p>【国語総合】<br/>動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を讀み進めることができる。漢文訓読の基本的知識を身に付けており、『諸子百家』等の文章を讀んで理解することができる。</p>                                | <p>【国語総合】<br/>古典の文章を讀み取った思想や感情を基に、人間・社会・自然等について考察し、見識を深めようとする。他の者の意見や価値観について他者に對する理解を伝えることができる。</p> | <p>【国語総合】<br/>発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりすることができる。</p>                                       | <p>【国語総合】<br/>発表や討論の場で、テーマについての複数の考えを分類したり統合したりすることができる。</p>                            | <p>【国語総合】<br/>古典を讀むことを通じて我が国や東アジア文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。</p>                                  |







Global Cam-do List (中学校 社会)

| No.  | 1   | 2  | 3  | 4  | 5       |
|------|---|--|--|--|---------|
| 資質能力 | 幅広い深い教養   | 課題解決能力   | コミュニケーション能力  | リーダーシップ  | 社会貢献の意識 |
| 解説   | 我が国や世界における社会的対象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、その知識を身に付けていくこと。                                   | 我が国や世界における社会的対象から課題を抽出し、社会的対象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、その知識を身に付けていくこと。  | 我が国や世界における社会的対象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用し、分かりやすく表現できること。                | 我が国や世界における社会的対象に対して関心を高め、それを意図的に追究し、よりよい社会の構築に向けて自覚を持って責任を果たそうとすることができていること。   | 社会貢献の意識 |
|      | 【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史や現代の歴史と照らし、我が国の歴史の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その知識を身に付けていく。         | 【歴史的分野】近代・現代における歴史的対象から課題を見いだし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その知識を身に付けていく。  | 【歴史的分野】近代・現代に関する年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめることができる。      | 【歴史的分野】近代・現代における歴史的対象に対する関心を高め、それを意図的に追究し、我が国の伝統と文化について考え、国民としての自覚を持つことができる。   |         |
| 3年   | 【公民的分野】現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方や、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、それらの知識を身に付けていく。 | 【公民的分野】現代の社会的対象から課題を見いだし、社会的対象の意義や役割、相互の問題などを、解決すべき課題の解決策を、対立と合意、効率的・公正な見方や考え方を活用して、多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現できる。 | 【公民的分野】統計や新聞、映像など現代の社会的対象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめることができる。 | 【公民的分野】特種可能な社会の形成に向けて社会参画するに当たり、自然と隣隣、人権と平和、医療と開業などのテーマに関連した知識が基礎となることを理解することにより、現代の社会的対象に対する関心を高め、それを意図的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え、公民としての自覚を持つことができる。 |         |
| 2年   | 【地理的分野】世界の中での日本の位置、日本の領域の広がり、その現状・課題、日本の地域構成や様々な地域区分について理解し、それらの知識を身に付けていく。               | 【地理的分野】地球表面上における時差の存在、世界の中での日本の位置や広がり、日本国内の様々な地域区分の指標について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。  | 【地理的分野】世界の中での日本の位置や広がり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めめる方法、世界の略地図を適切に活用し、その知識を身に付けていく。  | 【地理的分野】世界の中での日本の位置や広がり、日本国内の地域構成や地域区分に、関心を高め、それを意図的に追究し、我が国の伝統と文化について考え、国民としての自覚を持つことができる。   |         |

|  |  |  |   |  |  |
|--|--|--|---|--|--|
| 【地理的分野】<br>・世界の大規模な地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。<br>・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性に目を向け、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性を理解し、その知識を身に付けていく。 | 【地理的分野】<br>・国名や国旗、国章の特色が様々な地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。<br>・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性に目を向け、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性を理解し、その知識を身に付けていく。 | 【地理的分野】<br>・国名や国旗、国章の特色が様々な地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。<br>・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性に目を向け、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性を理解し、その知識を身に付けていく。 | 【地理的分野】<br>・緯度と経度を使って世界の地点を示すことができる。また、世界の大きな略地図を描いたり、統計資料を活用したりすることができる。<br>・世界各地の人々の生活と環境の多様性に目を向け、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性を理解し、その知識を身に付けていく。 | 【地理的分野】<br>・地球儀、地図帳、映像資料などから地理的事象を調べたり、それらの学習成果を略地図などにまとめることができる。<br>・調査対象の国や地域の特色について図表にまとめることができる。 | 【地理的分野】<br>・地図や地球儀に頼り、世界の興味・関心を持って追究できる。<br>・世界各地の人々の生活と環境の多様性に目を向け、自然及び社会的条件と関連付けて人々の生活の多様性を理解し、その知識を身に付けていく。 |
| 1年   | 【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史や現代の歴史と照らし、我が国の歴史の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その知識を身に付けていく。  | 【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史や現代の歴史と照らし、我が国の歴史の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その知識を身に付けていく。  | 【歴史的分野】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史や現代の歴史と照らし、我が国の歴史の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断し、その知識を身に付けていく。   | 【歴史的分野】古代・中世における年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめることができる。                                | 【歴史的分野】古代・中世における歴史的対象に対する関心を高め、それを意図的に追究し、我が国の伝統と文化について考え、国民としての自覚を持つことができる。                                   |

目指す生徒像：数学的活動を通して、事象を考察し表現する能力を高め、論拠に基づいて判断できる生徒

| No.  | 1  | 2  | 3   | 4  | 5  |
|------|--|--|---|--|--|
| 資質能力 | 幅広く深い教養  | 課題解決能力   | コミュニケーション能力   | リーダーシップ  | 社会貢献の意識  |
| 解説   | 知的好奇心、直観力、洞察力、論理的思考力などの創造性の基礎を養い、複数分野を融合させた事項を多面的に捉え、正しい数学的推論に基づいて合理的に表現できる力が備わっていること。 | 1つの問題に対して、関連する公式や定理を複数使い、解法を構築でき、数式を用いて、事象に対して数学的な見方や考え方を生かすことができること。  | 自分の考えを、的確に相手に伝えることができること。相手の考えを理解し、コミュニケーションを図ることができること。                          | 自分の意見、他者の意見を数学的根拠に基づいて、判断・説明でき、主体的に意見をまとめ、正しい方向にもつていくことができること。 | 現代社会における諸問題に対して、数学的思考・知識をどのように生かしていかを意図できること。                          |
| 3年   | ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、学習した知識等を基に一般的な方略などを見いだし、適切に処理するとともに、数学的によりよく表現することができる。           | ・基礎基本が徹底しておき、発展問題への意欲・関心を持つことができ<br>・自ら課題を見いだし、考察・処理し、課題解決に取り組むことができる。 | ・自分で考えたその解法を他者へ明確に伝えることができる。<br>・他者の解法について、活発に質疑を行うことができる。                        | グループ学習等において、自分の考えを、相手に伝えることができ、また相手の考えを理解することができる。             | 数学が様々な事象の考察に活用されていることを知り、現代社会における諸問題に対して、数学的思考・知識をどう生かしていくかを考えることができる。 |
| 2年   | ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、学習した知識等を基に一般的な方略などを見つけて、それを適切に表現することができる。                         | 自分の持てる知識・技能をすべて活用して、課題解決に取り組み、数学的な資質・能力を伸ばすことができる。                     | グループ学習等の場で、自分の考えを、相手に伝えることができ、また相手の考えを理解することができる。                                 | グループ学習等において、主体的に他者の意見・自分の意見を整理・統合し、正しい方向にもつていくことができる。          |  |
| 1年   | 課題の解決に数学のよさを活用しようとする態度が育成され、数学の学習の必要性が認識できるようになり、具体的な事象を数学的に処理するための基礎を身に付けることができる。     | 基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、課題を解決する際、既習事項をどのように関連させて理解し、よりよい理解ができる。             | 問題に対する自己の解法を説明することができる。グループ学習を通して1つの問題を相互に考え、自分の考えを表現するとともに、他の考えも積極的に取り入れることができる。 |  |  |

目指す生徒像：数学的活動を通して、基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、活用したり判断したりできる生徒

| No.  | 1  | 2  | 3  | 4   | 5   |
|------|--|--|--|---|---|
| 資質能力 | 幅広く深い教養  | 課題解決能力   | コミュニケーション能力  | リーダーシップ   | 社会貢献の意識   |
| 解説   | 知的好奇心、直観力、洞察力、論理的思考力などの創造性の基礎を養い、複数分野を融合させた事項を多面的に捉え、正しい数学的推論に基づいて合理的に表現できる力が備わっていること。 | 1つの問題に対して、関連する公式や定理を複数使い、解法を構築でき、数式を用いて、事象に対して数学的な見方や考え方を生かすことができること。  | 自分の考えを、的確に相手に伝えることができること。相手の考えを理解し、コミュニケーションを図ることができること。   | 主体性を持ってコミュニケーションを図り、協力をし、発問に対する考えを述べるることができること。   | 学んだことを芯用・発展させて、現代社会における問題解決に数学をどのように生かしているかを意識していること。                 |
| 3年   | ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、学習した知識等を基に一般的な方略などを見いだし、適切に処理するとともに、数学的によりよく表現することができる。           | ・身の回りの事象について数学を使って解決することができる。<br>・解法や根拠となる事柄を精選することができる。<br>・図形の性質や計量について一層深く考察することや見いだした性質や定理を具体的な場面や図形で活用することができる。 | ・自己の考えを分かりやすく伝えたり、相手の考えを基に考えたりすることができる。<br>・コミュニケーションにおいて、話すだけでなく、読む人を意識した証明ができたこと、積極的に数学用語を使って話したりすることができる。<br>・話し合いを通して、よりよい解法を導き出すことができる。 | ・1つの問題をグループで話し合う中で、質問したり、自己や他者の意見をまとめたり、他者の解法の良さと、自分の解法の良さを認めたり、積極的に意見交換ができる。<br>・自分の考えが言え、他者の意見に耳を傾けることができる。 | 課題学習などを通して、身近な問題を既習事項を生かして解決し、課題解決の喜びを感じたり、現代社会と数学との関わりを感じたりすることができる。 |
| 2年   | ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、学習した知識等を基に一般的な方略などを見つけて、それを適切に表現することができる。                         | 自分の持てる知識・技能をすべて活用して、課題解決に取り組み、数学的な資質・能力を伸ばすことができる。   | グループ学習等の場で、自分の考えを、相手に伝えることができ、また相手の考えを理解することができる。  | グループ学習等において、主体的に他者の意見・自分の意見を整理・統合し、正しい方向にもつていくことができる。   |   |
| 1年   | 課題の解決に数学のよさを活用しようとする態度が育成され、数学の学習の必要性が認識できるようになり、具体的な事象を数学的に処理するための基礎を身に付けることができる。     | 基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、課題を解決する際、既習事項をどのように関連させて理解し、よりよい理解ができる。   | 問題に対する自己の解法を説明することができる。グループ学習を通して1つの問題を相互に考え、自分の考えを表現するとともに、他の考えも積極的に取り入れることができる。  |   |   |

Global Can-do List (高校 理科)

目指す生徒像：自然の事物や現象について幅広く理解し、目的意識を持って科学的に探究し、科学的根拠に基づき協働して思考、判断、行動することができる生徒

| No.  | 1   | 2  | 3  | 4  | 5  |
|------|---|--|--|--|--|
| 資質能力 | 幅広い深い教養   | 課題解決能力   | コミュニケーション能力  | リーダーシップ  | 社会貢献の意識  |
| 解説   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則などの知識を理解し、科学的なものを見方や考え方ができること。</li> <li>・身につけた科学的知識を活用して推論ができること。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象や出来事の中に課題を見出し、その原因を探って、新たな知識やモデル、解決するための科学的方法を提案し、その結果の考察から、よりよい解決策を提案することができること。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査を通して導き出した意見や考えを、数学的方法<sup>①</sup>を含めた言語により、第三者に分かちやすく説明することができること。</li> <li>・その説明に対して疑問点を挙げたり、質問に対して客観的証拠や論拠を示しながら説明するなどして議論を深められること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的事実・説明に対し、謙虚に耳を傾け、目的意識を持って協働して課題に対処できること。</li> <li>・科学的、客観的根拠を基に判断や決断をし、説明や論拠をチームをまとめていくこと。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術と社会・環境との関わりについて理解し、持続可能な社会を創造しようとする意識を持っていること。</li> </ul> |
| 3年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事物・自然現象を、抽象的・概念的・科学的用語と関連付けて認識できること。</li> <li>・観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念・科学的用語、法則などを用いて論理的に推論・活用ができること。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な自然現象を科学的な根拠に基づいて実験・観察を企画し実践することができること。</li> <li>・観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念・科学的用語、法則などを用いて論理的に推論・活用ができること。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査を定量的に行い、グラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学的用語や数式を用いて説明できること。</li> <li>・他の班の実験結果・解釈・意見について質問が用いて誤差も考慮しながら議論することができる。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識を持って、より質の高い学び合いを行うこと。</li> <li>・問題や課題を正しく認識・理解して、科学的な根拠に基づいて決断し、班やクラスに伝えることができる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、社会で起る様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術と職業との関連を理解し、進路や職業選択に及ぼした影響を正しく評価し、持続可能な社会を構築するために科学技術をどう活かせるか考えることができる。</li> </ul> |
| 2年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な現象を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念・科学的用語、法則などを用いて様々な現象を推論・活用ができること。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事物・現象を科学的に捉えたり理解する知識や、定量的に捉える手法（精度の高い実験・観察・調査方法・グラフ化・定式化等の方法など）を身に付けている。</li> <li>・実験・観察・調査の境界を理解し、その原因を踏まえた上で科学的精度の高い実験・観察を提案できる。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査を定量的に行い、その結果をグラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学的用語や数式を用いて説明できる。</li> <li>・他の班の実験結果・解釈・意見について質問が用いて誤差も考慮しながら議論することができる。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して意見、質問、提案、討論ができる環境を作るとともに、問題や課題を正しく認識・理解し、解決するために何が必要かを考え、より質の高い学び合いを行うことができる。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術が日常生活や社会を豊かにし、様々な職業とも関連していることを理解できる。</li> </ul>           |
| 1年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの事物・現象を、抽象的・概念的・科学的用語と関連させて認識できること。</li> <li>・観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念・科学的用語、法則などを用いて様々な現象を推論・活用ができること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事物・現象を科学的に捉えたり理解する知識や、定量的に捉える手法（実験・観察・調査方法やグラフ化の方法など）を身に付けている。</li> <li>・実験・観察の結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念・科学的用語、法則などを用いて様々な現象を推論・活用することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査を定量的に行い、その結果をグラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学的用語や数式を用いて説明できる。</li> <li>・他の班の実験結果・解釈・意見について質問が用いて誤差も考慮しながら議論することができる。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して意見、質問、提案、討論ができる環境を作るとともに、問題や課題を正しく認識・理解し、仲間へ何を伝える必要があるかを考え、より質の高い学び合いを行うことができる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術が日常生活や社会を豊かにしていることを理解できる。</li> </ul>                      |

Global Can-do List (中学校 理科)

目指す生徒像：自然の事物や現象について興味・関心を持ち、目的意識を持って科学的に探究し、科学的根拠に基づき協働して思考、判断、行動することができる生徒

| No.  | 1   | 2  | 3  | 4  | 5  |
|------|---|--|--|--|--|
| 資質能力 | 幅広い深い教養   | 課題解決能力   | コミュニケーション能力  | リーダーシップ  | 社会貢献の意識  |
| 解説   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則などの知識を理解し、科学的なものを見方や考え方ができること。</li> <li>・身につけた科学的知識を活用して推論ができること。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象や出来事の中に課題を見出し、その原因を探って、新たな知識やモデル、解決するための科学的方法を提案し、その結果の考察から、よりよい解決策を提案することができること。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査を通して導き出した意見や考えを、数学的方法<sup>①</sup>を含めた言語により、第三者に分かちやすく説明することができること。</li> <li>・その説明に対して疑問点を挙げたり、質問に対して客観的証拠や論拠を示しながら説明するなどして議論を深められること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的事実・説明に対し、謙虚に耳を傾け、目的意識を持って協働して課題に対処できること。</li> <li>・科学的、客観的根拠を基に判断や決断をし、説明や論拠をチームをまとめていくこと。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術と社会・環境との関わりについて理解し、持続可能な社会を創造しようとする意識を持っていること。</li> </ul> |
| 3年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象を、ユニバーサル・原子・分子など抽象的概念と関連させながら理解し、観察・実験の結果を、科学的用語（事物名、現象名、法則など）との関連において理解できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象について観察・実験を行い、その結果について規則性や普遍性を見られる。</li> <li>・より適切な実験や観察を行うための改良方法や理解を深めるための実験・観察方法を提案できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、結果を整理し、得た結果から自らの意見や考えを、抽象的な概念や科学的用語、グラフなどを用いて説明できる。</li> <li>・他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明できる。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して意見や疑問を述べたり、提案をしたりしやすいく環境を作るとともに、安全に配慮し、安全を考慮した観察・実験を行うことができる。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術が日常生活や社会を豊かにし、様々な職業とも関連していることを理解できる。</li> </ul>           |
| 2年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象から科学的概念や原理・法則、多様性や規則性などとして整理し、科学的用語（事物名、現象名、法則など）との関連において理解できる。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象について観察・実験を行い、その結果から科学的概念や原理・法則、多様性や規則性などとして整理し、科学的用語（事物名、現象名、法則など）との関連において理解できる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、結果を整理し、グラフなどで表された結果を科学的に解釈して結論を説明できる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して意見や疑問を述べたり、提案をしたりしやすいく環境を作るとともに、安全に配慮した観察・実験を行うことができる。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術が日常生活や社会を豊かにしていることを理解できる。</li> </ul>                      |
| 1年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象から科学的概念や原理・法則（器具名や法則など）の関連において理解できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに存在する事物や身の回りで生じる現象について観察・実験を行い、その結果から科学的概念や原理・法則（器具名や法則など）の関連において理解できる。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、グラフなどで表された結果や科学的用語を基に自らの意見や考えを説明できる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して意見や疑問を述べたり、提案をしたりしやすいく環境を作るとともに、安全に配慮した観察・実験を行うことができる。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いていること。</li> <li>・科学・技術が日常生活や社会を豊かにしていることを理解できる。</li> </ul>                      |